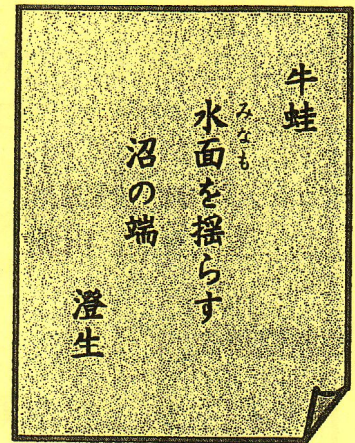


八郎沼 大野音頭に・・まつりに

昭和25年(1950)、大野音頭“恋はひとすじ観音山の 桜狩から八郎沼八郎沼”、同55年、新大野音頭“招くさくらにほほえむつつじ 眺め絵になる八郎沼”と載り歌われ踊られた。

平成3年(2001)、多目的ホールが完成し、6年から11年まで大野、上磯、七飯三町の中学校が吹奏楽コンサートを開いた。

8年、第一回「八郎沼まつり」が催され人気歌手を招いた。



説明板設置、かるたに

平成2年(1990)、説明板「八郎沼公園」を町教委が、その後「八郎沼公園の由来」を町教委・町観光協会が立てた。

同11年、「おおの郷土史かるた」を文保研が作成し八郎沼の読み札も入った。

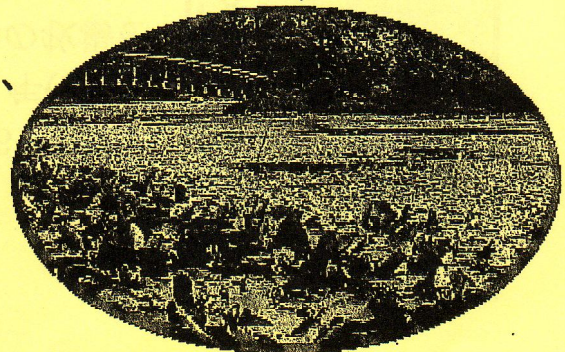
大野地区向野

八郎沼公園



昭和50年(1975)に開設した総面積11畝、沼面3畝の公園である。スイレンや水辺の花々が開き、桜が咲き、釣りもできるため、憩いを求めて多くの人を訪れる。

隣接地には体験農園、観光農園があり、またパークゴルフ場もあって人気が高い。「八郎沼まつり」(現在北斗市商工観光まつり)には近郊から大勢の人で賑う。



大野文化財保護研究会

2011、9、26